

・ 苦しい中で頑張る皆さんへ…

皆さんは受験生であると同時に高校生でもあります。辛い経験をしたり、将来の不安を感じたり、自分の居場所を探しめがいたり、受験だけに集中するには厳しい状況にいる人も少なくはないのではないのでしょうか？毎日生きるだけで精いっぱいな人もいるかもしれません。そんな皆さんは苦しい今を懸命に乗り越えようとしているのでしょうか。嫌気がさすことがあっても今を必死に生きてください。大丈夫です。先が見えなくて暗闇に一人取り残されたように感じるかもしれませんが、いつか必ず光が見えます。時に立ち止まることがあってもいいです。ただ、歩くことを忘れないでください。前でも後ろでも横でもどんな方向でも構いませんので歩いてください。それがとても苦しいことなのはよく分かっています。苦しかったら泣いても叫んでもいいです。我慢することなんてありません。だから苦しみから自分から逃げないでください。あなたがした経験はいつか必ず役に立ちます。経験は宝箱の鍵です。その鍵は簡単に手に入るものではないですし、誰にでも得られるものではありません。鍵を得るための大事なチャンスを自分から手放さないでください。その鍵は自分の宝箱を開けるための鍵かもしれませんが、周りにいる大切な人の宝箱を開けるための鍵かもしれません。いつどこで役に立つかは分かりませんが、来るときにその鍵をどのように使うかはあなた次第です。たくさんの鍵を得てたくさんの宝箱を開けてください。そうすればあなたの人生は輝くものになりますから。さて、経験は宝箱の鍵だなんて書きましたが、具体的にどうすればいいのか苦しい今を乗り越えるためのちょっとしたアドバイスです。もし、一人で悩んでいるならば周りにいる信頼できる大人に相談してみてください。学校の先生は年齢層さまざまですから相談相手には最適です。学校の先生に限らずですが、大人は皆さんが思っている以上にたくさんの鍵を持っています。その中にはあなたが必要としている鍵があるかもしれません。話したって何も解決しないと思うかもしれませんが、話すことが大事なのです。自分の中で溜め込めばそのことが頭から離れなくなっちゃいます。話しているうちに解決できることもありますし、話してすっきりして前向きになれます。また、周りから話を聞くことでヒントが見つかるかもしれません。どうせ何も変わらないと思っているなら何かしてみてもいいのではないのでしょうか。少なくともあなたの支えになる味方が一人増えます。一人にならないでください。ちゃんと周りを見れば手を差し伸べてくれる人が背中を押してくれる人が絶対にいます。それから、「ないもの、失ったものではなく今自分が持っているものに目を向けて」ください。この言葉は私がお世話になった高校の先生が下さった言葉です。私はこの言葉を聞いて、自分がどれほど幸せで恵まれているかに気づきました。学校には話を聞いて下さる先生がたくさんいて、隣にいてくれる友達がいて、それ以外に必要なものなんてなくて私は一人ではなかったと知りました。もう一度自分が持っているものに目を向けてみてください。あなたが持っているものは意外と多いと思います。ないものにとらわれてふさぎ込むのではなく、今あるものに感謝しましょう。苦しい時人はどうしても今あるものの幸せを忘れてしまいます。ないものばかりが気になってそれを求めてしまいます。それほど追い込まれてしまっているのです。今あなたが持っているものはあなたが苦しい中で頑張る糧くらいにはなると思いますよ。私は今でも苦しい時はこの言葉を思い出そうにしています。なんで自分がこんな思いしなければならぬのか、そんなこと考えるときもありますが、自分が持っているものを思い出すと心があつたかくなり、頑張ろうと思えます。辛い時はこの言葉を思い出してみてください。きっとこの先の人生でも前を向くきっかけになると思いますよ。自分は何も持っていないと思う人もいますが、少なくともあなたはこのサイトを見ることができているじゃないですか。多くの人の思いの詰まったこのサイトを。